

みなしご通信



野生動物専用 森のレストラン

食べ物が無い野性動物のためになんとかできんもんなかと自然保護活動をやっている団体に話を聞こうと思つて片っ端から調べたら「人間のための」自然保護活動団体ばかりで活動内容も人間の子どもたちが楽しめる森づくりや人間のおとなたちがゆつくり散策できる森づくりなど人と自然の関係にスポットを当てた活動ばかりで野鳥や野性動物のためだけに自然保護活動を行っている団体が日本には存在しないことを知りました。

なぜなら野鳥や野性動物のためだけだと企業の賛同が得にくく寄付が集まらないから！だから子どもが自然と親しむイベントやおとなが自然の中で楽しむイベントを組むけどそれだと野生動物が棲むエリアが狭まるばかりで野性動物的にはなんもええことがないよね。私だって一応はちっぽけではあるけど動物愛護団体の代表なので現実問題として活動資金の調達がどれだけ大変なことかぐらいは知ってますよ！だけど活動理念や活動目的を変えてまで資金調達が走りたくない。活動資金がないならななり知恵をふりしぼってできることをやるのが代表者の務めだと思ふしそもそも私がやりたい自然保護活動は企業が喜ぶものでもないし人間は誰も1円たりとも得をせずただただ野鳥や野性動物の食べるものを実らせる「ためだけ」の豊かな森づくりなので仮に山を整備して食べ物が豊富できれいな水が湧き出るような豊かな森ができたとしてもその



森には私も含め人間は「遊びには」行けませんよッ！だって考えてみて！そこにしよつちゆう人間が出入りしてたらそこはもう自然保護地でもなんでもなくなったの開發地になるじゃない！しかもそこに誰かを招き入れたりしてもしイノシシや熊と出会ったら怖いだなんだと騒がれて結局イノシシや熊が殺されてしまうじゃない！私が目指している「豊かな森」ってのは野鳥や野性動物たちの食べるものがたくさん実る野鳥や野性動物たちだけの楽園【森のレストラン】ですから♪そう人間が簡単に入り込めないような山に分け入った

千坪程度のところに実のなる木だけ残して地面まで太陽の光が入るように整備していきある程度整備できたら定点カメラでそこに集まる野鳥や野性動物たちの動きを見てその土地土地の生き物たちに合うようさらなる最善策を講じながら何十年かはそのまま持続しているような豊かな【森のレストラン】を作りたい。

捕食される側のネズミから捕食する側のイタチやテナンそれだけでなくリスやハクビシンキツネやタヌキやアナグマニホンザルやイノシニホンジカやツキノワグマ等の野性動物たちがうちに来た理由それは私に種の「正しい生態」を教えるためなのかなと思ひます。凶鑑生態系の本に書いてあることと現実とのギャップはかなりありますから。手のひらに入るほどのイタチやテンの赤ちゃんとか猫ほどの大きさの鹿の赤ちゃんやバグぐらいの大きさのイノシシの赤ちゃんが飲むミルクの量は実はそこまで差がないし、ツキノワグマ1頭

が生きるの年間何十トンものどんぐりを消費すると思つてたけどいやいや全然そんなに食べんし。野性動物たちは食べて大きくなるのではなくしつかり寝て大きくなるので決して睡眠の邪魔をしてはならないとも強く思ひます。すなわち【やらんと山に入らない】これは野性動物たちが安心して暮らすためには絶対条件だなあと私は思ひます。

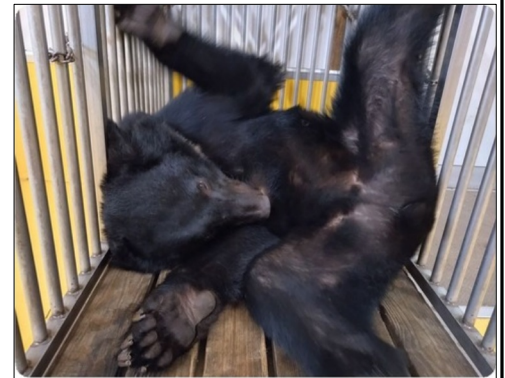
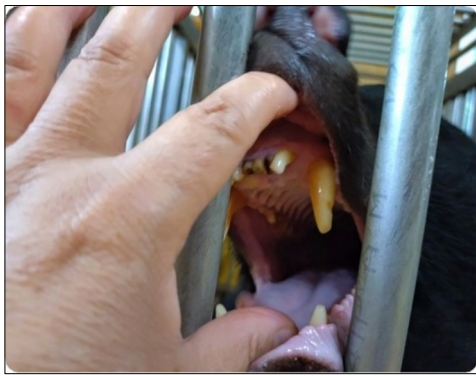
ゆかいなカツ

ツキノワグマが人里に迷い出て人間の目に触れてしまふと上へ下への大騒動になります。言うときまますけどこの世で一番野蛮で危険な生き物は人間ですよ！人間は自分の手足や歯以外に武器が使えますから。そこんとこ踏まえた上で危険だ！危険だ！と騒いでもらいたいもんです。

野生動物は植物の種類（シード）は大好きです。酸味や苦みも平気です。なので野性動物はパッションフルー

ツを喜んで食べるのですよ！
 《みなしご果物農園》を作ろうと奮闘してくれている北海道滝川のおぼちゃんから届いたパッションフルーツ、確かにこの果物はぜんぶ種でもんね。カツはお行儀よく丁寧に食べます。そして私の手を傷つけないようそろりそろりと食べてくれます。

カツと私の《毎朝の遊び》クチの中チェック。ところどころ虫歯に見える歯があるけど最初からなんですよね。とりあえず私の目的は薬を飲ませやすくすること。カツの熱中症が治せたのは毎朝のこの遊びの成果だと思っと思っています。野生動物の



中でもダントツ愉快的なツキノワグマのカツ。すぐに調子に乗るしとにかく楽しい遊びは大好きです。私は観客になりきってオーバーに声をかけます。するとカツはますます張り切ります。観客のひと声はカツの健康維持に確実に役立っていると思うのでふるさと納税で高額寄付をしてください。た方にそのお礼として順次栃木拠点にお迎えしてカツを褒めてもらおうかなと。私って人間は協力してください。私って人間は私にできることとお返しをしたいタイプなのでふるさと納税の寄付もなにかできないかなと考えていて、うちの野生動物

朝のひろしは： 成熟し始めたニホンザルが生まれ育った群れから出て「どしよかな」と迷ってうっかり間違つて町に出てしまうと「猿が出た！危険だ！」と大騒ぎになります。まあ毎回大騒ぎになつてはいるもののニホンザルを捕まえられる人間がいなためこの騒ぎはいつの間にか消えていくわけですが（笑）確かにニホンザルは怒らせたり怖がらせたりすると危険な動物でニホンザルの武器は《ひっかくこと》と《噛むこと》でそのチカラは強大です。

朝の様子。新聞配達です！ひろしの朝はまず新聞を見ることから。「文字を見ると眠くなるよね」ひろ

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。



しと私は親子なのでまさに同感（笑）新聞を見たろうた寝。寝ているときが一番かわいい（笑）人間と暮らすと退屈だけど自然界で暮らすと食べ物に困る：どつちが良いのか私にはわかりませんが厳しい自然界で腹を出して寝ることはできません。※自然界だとニホンザルは座つて寝ます。

NPO法人（特定非営利活動法人）
犬猫みなしご救援隊
 www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊
 〒731-0234
 広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2
 TEL：082-812-3745 FAX：082-815-2711

YAHOO! JAPAN ネット募金

つながる募金

▲ネットやスマホで当団体に募金できます

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページに掲載しております。「みなしご通信」で検索してみてください。